



乗って残そう養老鉄道



養老鉄道 各駅1日乗降人員(合計)

<平成20年11月18日(火)交通調査結果 前回平成17年11月8日(火)>
(単位:人)

	20.11.18	17.11.8	比較	
桑名	4,853	5,788	-935	-16.2%
播磨	582	936	-354	-37.8%
下深谷	1,174	1,396	-222	-15.9%
下野代	485	525	-40	-7.6%
多度	1,424	1,619	-195	-12.0%
美濃松山	883	1,098	-215	-19.6%
石津	601	700	-99	-14.1%
美濃山崎	181	225	-44	-19.6%
駒野	1,009	1,265	-256	-20.2%
美濃津屋	316	377	-61	-16.2%
養老	638	747	-109	-14.6%
美濃高田	1,032	1,160	-128	-11.0%
烏江	982	955	27	2.8%
大外羽	889	935	-46	-4.9%
友江	541	527	14	2.7%
美濃青柳	559	673	-114	-16.9%
西大垣	379	347	32	9.2%
大垣	8,790	8,911	-121	-1.4%
室	526	511	15	2.9%
北大垣	398	387	11	2.8%
東赤坂	374	489	-115	-23.5%
広神戸	1,064	1,060	4	0.4%
北神戸	655	581	74	12.7%
池野	840	800	40	5.0%
北池野	579	519	60	11.6%
美濃本郷	643	551	92	16.7%
揖斐	1,743	1,826	-83	-4.5%
合計	32,140	34,908	-2,768	-7.9%

池野・北池野・美濃本郷の3駅は、みなさんのご協力で増加した。



海津市との交流(ふるさと祭)

養老鉄道との懇談会開催

平成21年9月8日 養老鉄道より代表取締役社長 野口氏他2名の職員が来庁され、当町議会議員、養老鉄道の永続を進める会との懇談会が開催されました。

社長より経営状況について、人口減少や車社会等のため乗降客が減少しつつあり、平成20年度の年間利用者は690万人。今後とも安全を損なわない限りのコストダウンに努め、経営努力をしていくとの説明がありました。その後質疑が行われ、出席者より駅及び周辺管理、他市町の取り組み状況等について熱心に協議され、養老鉄道としても取り組めるところから順次、実施していきたいとの回答がありました。

養老鉄道の過去2年間の主な改善策

- ①誘客イベントの実施
薬膳列車、ご当地切符、ハイキング、グッズ販売等々
- ②沿線企業に積極的営業活動
ニーズに合う商品開発
- ③利用者に効率的な列車設定
- ④無人駅、不正乗車防止対策
アルバイトによる出改札実施
- ⑤退職再雇用社員、非正規社員による人件費削減等により、乗客と売上の増、経費削減に務めた。

22年には協定の満了、再契約となる。
何としても養老鉄道を
みんなで守ろう！！